

令和7年度 薬科学専攻博士課程前期課程入学試験(一次募集)問題
英語② 出題の意図

この問題の出題意図は、単なる語彙や文法の理解を超えて、下記の点を総合的に評価するところにある。つまり、「英語が読めるか」ではなく、「英語で書かれた科学的思考のプロセスを理解し、日本語で再構築できるか」を測るものである。

「科学史的叙述を正確に読解する力」

実験条件、前提、観察、推論、検証といった、科学的記述特有の論理構造を日本語として破綻なく再構成できるか。

「因果関係と対比の把握」

cardboard で遮蔽している「はずなのに」光が見えた、という逆接、そこから「唯一の説明」に至る推論の流れを的確に捉えられるか。

「抽象語・評価語の処理能力」

薬学系や理工系の学術英語で頻出する抽象語を、日本語として自然かつ文脈に即して訳せるか。

「大学院入学レベルにふさわしい日本語表現力」

単なる直訳作業だけではなく、学術的文章として読みやすい日本文にまとめる能力、すなわち「理解した上で書き直す力」を有するか。